



ゲストスピーチ 鶴岡銀座通り商店街理事長 鈴木裕士様

会長挨拶 会長 鈴木孝純君

2 日前の 3 月 7 日、西ロータリークラブのもとメンバーの御橋廣眞先生がご逝去されました。享年 90 歳でした。長年、名古屋大学で教授として教鞭をとられ、専門は物理学という難解で固い学問でしたが。温和でいつも笑顔を絶やさない方でした。このような先生のもとで物理学を学んだ学生たちの多くは学問の楽しさを経験されたと思います。

御橋先生は、哲学者・思想家である中村天風から直接指導を受けた一人でした。中村天風は戦後、結核という死の恐怖を克服した経験から、心と身体を一体として整える「心身統一法」を編み出しました。そして、常に前向きに生きる「積極」の理念は、松下幸之助や稲盛和夫など多くの著名人に影響を与え、現在、WBC やメジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手もその一人です。大谷選手は中村天風の著書『運命を拓く』に出会い、鋼のようなメンタルと高い集中力を支える「心の土台」は、中村天風の「心身統一法」や著書の中での教えに由来していると言われてい

ます。

謹んで御橋先生のご冥福をお祈り申し上げます。

先日、致道館を訪ね、西ロータリークラブ創立 60 周年を記念して鶴岡市に寄贈したタッチパネル式デジタルサイ

ネージ (電子看板) を確認してきました。致道館受付の方にお伺いしましたが、来館者のデジタルサイネージに対する評判は非常に良いとのことでした。また、機器は講堂の部屋内に設置されており、冬の結露の心配は無さそうです。

ここで、致道館教育の素晴らしさを私なりに述べたいと思います。

江戸幕府は儒学を重んじましたが、各藩においては儒学の中で「朱子学」以外の学派は異学として禁止しました。朱子学は壮大な宇宙論を展開しながら、人間の心も普遍的な法則である「理 (ことわり)」と結び付け、調和のとれた「理」の実現によって秩序ある社会が形成されると説いています。これらは身分の違いを重視することにも通じ、幕府は封建体制を維持するために必要と考えたようです。

このような中、1805 年酒井家 9 代目忠徳公によって創設された藩校『致道館』では、士風刷新と優れた人材の育成を根幹に、幕府の意向とは距離を置き、儒学の中で荻生徂徠の唱えた「徂徠学」を採り入れました。その内容は、知識や道徳を詰め込むことが重要なのではなく、人それぞれの天性に応じつつ個人の特性を伸ばすこと (天性重視・個性伸長) を主旨とし、自ら考え学び (自学自修)、それを広く議論し (会業)、そこから展開や創造を見出させる教育を実践しました。今の教育においては、正解のない問題に自分なりの解決を案出・開発する能力や、変化に対応



米山奨学生 ウセイさん 幹事報告 小野寺佳克君